

2 主要事業説明

(1) 地域福祉に対する理解を促進するための仕組みづくり

経理区分〔セグメント〕 ボランティアセンター事業〔センター運営事業〕		
<p>見直し ボランティアセンター運営委員会運営事業 福祉教育推進連絡会開催事業</p> <p>福祉教育の実施に関する様々な課題の共有や福祉教育に取り組もうとしている地域・企業等への支援に関する課題等について審議する「福祉教育推進連絡会」と、ボランティアセンターの運営・各種事業の開催等について審議する「ボランティアセンター運営委員会」を統合し、福祉教育関連事業（福祉体験スクール・学齢障がい児余暇活動支援事業など）について幅広い視点から議論できる体制を構築します。</p>		
<p>The diagram illustrates the organizational changes over time:</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 17 年度: ボランティアセンター運営委員会 (年 3 回開催) with functions: 善意銀行寄託金配分審査, ボランティア情報の収集・提供, ボランティア相談事業, ボランティア講座. (ボラニア育成の観点から) 福祉教育関連事業の検討・評価. 平成 18～19 年度: ボランティアセンター運営委員会 (年 2 回開催) with functions: ボランティア情報の収集・提供. (ボラニア育成の観点から) 福祉教育関連事業の検討・評価. Transitions: 平成 18 年度～ 助成金等交付審査会へ機能移管; 平成 19 年度～ 福祉保健種放点事業として実施. 平成 20 年度: ボランティアセンター運営委員会 (年 5 回開催) with functions: ボランティア情報の収集・提供, 福祉教育関連事業の検討・評価. Summary: 統合の効果 幅広い視点 (ボランティア育成・福祉教育) で各種事業のあり方などについて議論することが出来る. 福祉教育推進連絡会: 年 3 回開催, 福祉教育関連事業の検討・評価. Status: 廃止. Note: 福祉教育推進連絡会は廃止. 		
前年度事業費支出	今年度事業費支出	増減
100	80	20

充実 各種福祉施設連携推進事業

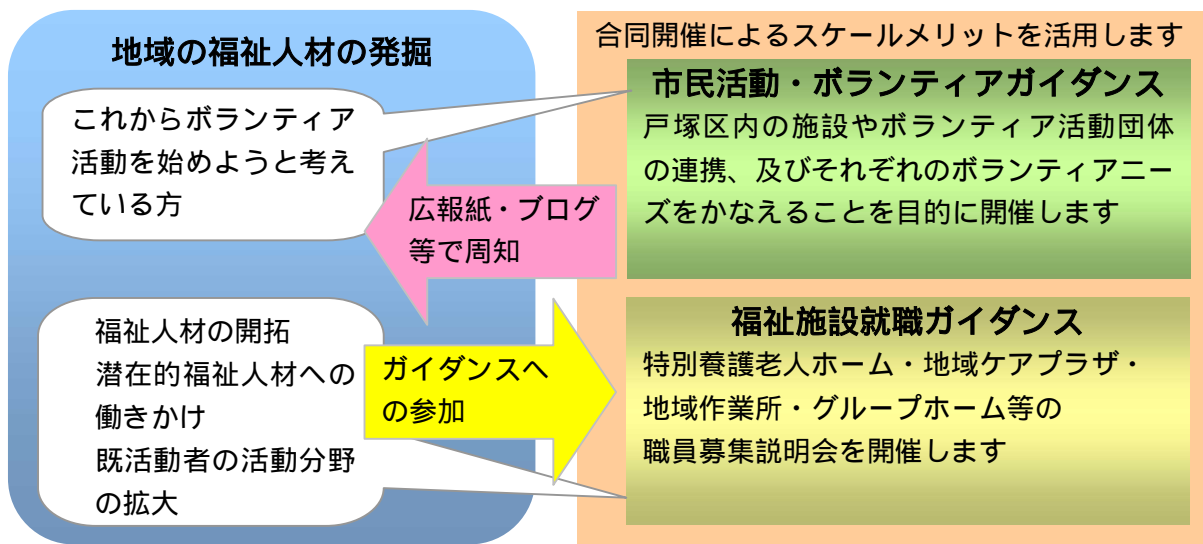
区社協会員の福祉施設・ボランティア団体等が一堂に会した人材募集の機会づくりを提供します。

市民活動・ボランティアガイダンス

これから何か活動を始めようとしている方や市民活動やボランティア活動に興味のある方などを対象に、区内の活動団体やボランティアを募集している施設等が一堂に会し、直接活動内容をご紹介します「市民活動・ボランティアガイダンス（仮称）」を開催します。

福祉施設就職ガイダンス

福祉施設への就職を考えている方などを対象に、区内で人材を求めている福祉施設等が一堂に会し、直接仕事内容や労働条件などをご紹介します「福祉施設就職ガイダンス（仮称）」を開催します。（ご紹介する福祉施設は区社協正会員の施設です）



前年度事業費支出	今年度事業費支出	増減
50	66	16

(2) 地域のみなさんの主体的な活動を促進・支援する仕組みづくり

経理区分〔セグメント〕 法人運営〔生活福祉資金貸付金事業〕

充実 生活福祉資金貸付事業

低所得者・高齢者・障害者・失業者の世帯の方々の生活向上のため、民生委員や社会福祉協議会の生活援助指導のもとに無利子や低利子の資金貸付を行うための事務を行います。

新たに、生活福祉資金「要保護世帯向け長期生活支援資金」貸付事業を実施します。

(目的)

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居を所有し、または住み続けることを希望する要保護の高齢者世帯に対し、当該不動産を担保として生活資金の貸付を行うことにより、その世帯の自立を支援します。

要保護者の所有する不動産の活用により、生活保護の適正化を図ります。

貸付対象

次の事項、すべてに該当する世帯です。

借入申込者及び配偶者が、原則として65歳以上であること

借入申込者の属する世帯が、本貸付を利用しなければ、生活保護の受給を要する世帯であると福祉事務所が認めた世帯

借入申込者が単独で所有している（または配偶者との共有）居住用不動産を所有している世帯であること

不動産に賃貸借権等の利用権及び抵当権等の担保権設定されていないこと

居住用不動産（土地・建物）評価額が概ね500万円以上の物件

不動産の評価額は不動産鑑定士による調査（評価）を実施して決めます。

前年度事業費支出	今年度事業費支出	増減
1,056	1,061	5

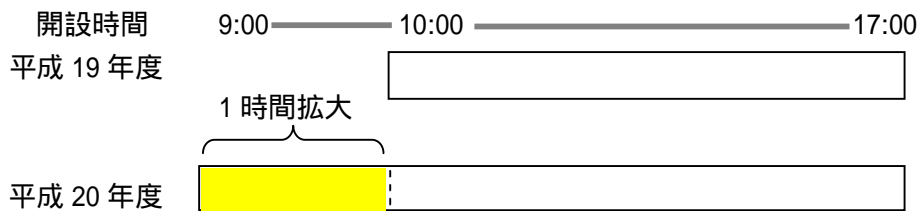
経理区分〔セグメント〕	福祉保健活動拠点運営〔ボランティア相談事業〕
-------------	------------------------

充実 ボランティア相談事業

ボランティア相談の窓口機能を強化し、活動をしたいボランティアとニーズのある個人・団体との2つのコーディネートをよりスムーズにできるようにします。

ボランティア相談員の配置時間の延長

平成19年度まで、ボランティア相談窓口の開設時間(9:00～17:00)のうち専任のボランティア相談員の配置時間は10:00～17:00でしたが、ボランティア相談員の配置時間を相談窓口の開設時間と同様にします。



ニーズに合ったボランティア活動者の発掘のための取り組み

ボランティア相談員による「定期的・恒常的なニーズ」の依頼元や、区内の各種施設や団体への訪問を通して、リアルタイムなニーズの把握を行うとともに、現にあるニーズに対応できるボランティア発掘のための入門講座や各種イベント開催を行います。

前年度事業費支出	今年度事業費支出	増減
1,436	1,503	67

経理区分〔セグメント〕	地域福祉推進事業〔障害者ガイドボランティア事業〕 〔障がい児通学支援モデル事業〕
-------------	---

新規 障がい児の通学支援事業
(障がい児通学支援モデル事業・障害者ガイドボランティア事業)

82ページ参照

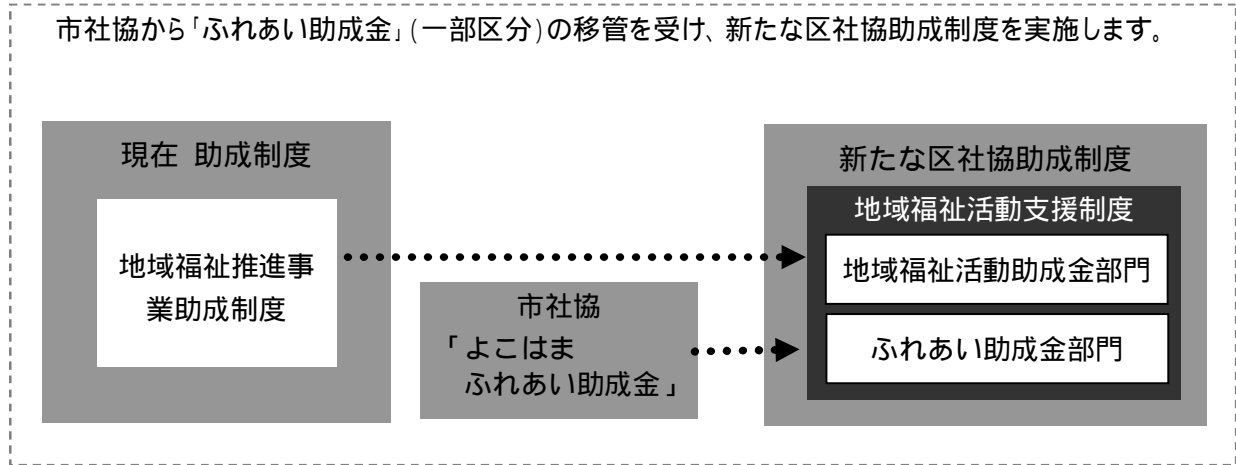
前年度事業費支出	今年度事業費支出	増減
0	1,715	1,715

経理区分〔セグメント〕	善意銀行運営 共同募金配分事業〔一般募金配分金事業〕〔年末たすけあい配分事業〕 地域福祉推進事業〔ふれあい助成金配分金事業〕
-------------	--

新規 地域福祉活動支援制度事業

地域で活動する福祉・ボランティア関係団体に対して、「市社協補助金」「共同募金配分金事業助成」「年末たすけあい援護資金」「善意銀行寄託金」を財源とした助成を行います。

市社協から「ふれあい助成金」(一部区分)の移管を受け、新たな区社協助成制度を実施します。



前年度事業費支出	今年度事業費支出	増 減
6,500	11,862	5,362

(3) 地域のみなさんがお互いの持ち味や特色を認めあい交流を深めることができる仕組みづくり

経理区分〔セグメント〕		地域福祉推進事業〔地域福祉活動推進事業〕	
<p>充実 方面別福祉活動関係者懇談会開催事業</p> <p>区内を方面別に4ブロック程度に分け、各ブロックに属する地区社協・ボランティア団体等の活動団体・福祉関係施設等の関係者による地域の課題共有等を目的とした懇談会の開催を定例化します。</p> <p>平成19年度には、地区社会福祉協議会・連合町内会自治会・民生委員児童委員協議会・ボランティア団体が地域別に分かれて「災害・防犯」をテーマとした懇談会を開催しました。前年度の実績を踏まえ、引き続き懇談会を開催します。</p> <p>開催回数を年1回 年2回へ増やします。</p> <p>参加団体について、福祉関係施設等の関係者への呼びかけを積極的に行っていきます。</p>			
前年度事業費支出	今年度事業費支出	増減	
100	90	10	

経理区分〔セグメント〕		地域福祉推進事業〔地域福祉推進事業〕	
<p>新規 戸塚区市民活動支援センター（仮称）開設支援事業</p> <p>80ページ参照</p>			
前年度事業費支出	今年度事業費支出	増減	
0	50	50	